

黒石市長

高 樋 憲 様

令和3年度

黒石市に対する要望事項

黒石商工会議所

令和3年度黒石市に対する要望

◆「福祉」

1. くろいし健康マイレージの継続について（継続）

黒石市による「健康都市宣言」（平成27年2月21日）に伴い、生活文化商業部会では平成28年度より「くろいし健康マイレージ」の周知及びポイント利用のできる協賛店を募集するサポート等を行っております。当所発行の「商工くろいし」及び地元の新聞社にも記事として取り上げられ、少しずつではありますが周知されてきています。

また、定期健康診断及びガン検診等の受診率も、これまで以上に向上するよう当所会員にも受診することの重要性を周知していきたいと考えております。

最終的には黒石市民の医療費が削減されることで国民健康保険税が減税されるよう、平均寿命・健康寿命を向上していくべきであると考えます。

つきましては、黒石市の「健康都市宣言」をより効果的なものにし、黒石市民（黒石の事業者）の健康と繁栄を目指していくためにも「くろいし健康マイレージ」を継続事業とし、より一層市民の健康意識向上に繋げていくことを要望します。

◆「商工業振興」

2. 便利で使いやすい市役所の実現に向けたワンストップサービスの構築について（新規）

現在、市役所の窓口は本庁舎を含め5ヶ所に分散されているため、手続きの内容によっては行ったり来たりすることもあり、不便に感じるが多々あります。

我々小規模事業者は、仕事への取り組み方を見直し、働く環境そのものを効率的なものに変えていくこと（労働時間削減、生産性向上）が求められている中、市役所機能（行政サービス）が分散される事で時間と労力が費やされる事になり、働き方改革に逆行している状況にある。

便利で使いやすい市役所の実現に向けたワンストップサービスの構築を要望します。

3. 黒石市制度融資保証料の増額について（継続）

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

今年度の制度融資の利用状況については、小口資金特別保証制度、事業活性化資金特別保証制度両制度の予算の消化率が合計で37.7%と、例年に比べて低い水準で推移しているのは、コロナ禍の影響で新型コロナウイルス感染症特別貸付制度の利用が多かったためだと予想されます。

しかし、本融資制度は例年上半期で予算に達してしまい、年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が出るなど、多くのニーズを有する制度のため、今後早い段階で予算に達する可能性があります。

よって、更なる利便性向上を図り1件でも多くの中小企業者が保証料給付を受けられるよう保証料給付の増額を要望します。

4. 地域産業振興・雇用拡大につながる事業について（継続・一部変更）

全国的な少子高齢化による人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内中小企業の就業者数が減少している。

黒石市では、創業5年未満の創業・起業者への支援として「黒石市創業相談ルーム」を開設し、「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」と連動で支援しています。

相談者も増加傾向で好評であることから、「黒石市創業相談ルーム」の継続、並びに「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」に関して備品購入費も該当に入れるなどの補助対象条件の緩和を要望します。

また、黒石市では積雪寒冷な気象条件のため、冬期間に就業機会を失う季節労働者は建設業を中心に多く存在する。季節労働者の県外流出を減らすために、雇用機会の創出を期待する声が高まっています。そこで、高齢者や小さな子供がいる世帯など自力での除雪・排雪が困難な方、または空き家で通行の妨げとなっている所を対象とした除排雪事業の創出について要望します。

◆「都市環境」

5. 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。

この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

6. カラス・野良猫対策について（継続）

黒石市内の路上が、カラスの糞で汚れている箇所を多く見かけます。黒石市を訪れる観光客はもとより、市民の目から見ても決して良いものではなく、黒石市の景観が損なわれていることが大変残念でならない。【別紙参照 令和2年9月30日撮影 市ノ町セブンイレブン前道路】

夕方になると黒石市役所付近の建物の屋上や電信柱からの電線にカラスの大群がとまり糞をしていく。商店街及び一般市民からも困っているとの声を多く聴いている。一般市民からの要望に関しては民間事業者が、電信柱からの電線に器具（カラスがとまらない）を設置していただいて対策に務めていただいておりますが、一民間事業者の対応にも優先順位があり、対応が行き届いておらない現状です。

つきましては、商店街等への糞の被害が極力少なくなるように、カラス対策を引き続き要望いたします。

また、減少傾向ではあるが、まだ一部地域では野良猫による糞・尿の悪臭に周辺住民が疲弊している。野良猫に関してはエサを与えない呼びかけ等を、引き続き広報・HP等で周知していただくことを要望します。

◆「観光振興」

7. オーストラリアからの誘客の促進について（新規）

市ではお互いに職員を派遣しあうなどオーストラリアからのインバウンド観光の促進に取り組んでいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は足踏み状態となっています。さらに、コロナ禍において宿泊業や飲食業をはじめ多くの業種が厳しい状況におかれております。

つきましては、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、黒石の魅力をさらに強く発信し、事業者が希望を持てるよう、さらなるインバウンド観光の促進に取り組んでいただきますよう要望します。

8. 黒石市内の観光地における公衆無線LANの設置について (継続・一部変更)

現在、黒石市内で観光地などの交流人口の多い場所（屋外）に、広域で公衆無線LANを常設しているところはありませんが、観光客等の利便性を高め、SNS等でどんどん黒石市の魅力を発信して頂く仕組みが必要であると考えます。

つきましては、地域外からの来訪者を増やすためにも黒石市内観光地等交流人口の多い「こみせ通り」に無料の公衆無線LANの設置を要望します。併せて弘南鉄道黒石駅、民間宿泊施設・会議施設への設置に対する補助を検討して下さるよう要望します。

◆「文化・教育振興」

9. スクールバスの運行について（内容変更再要望）

平成30年度の要望事項として、黒石中学校前バス停留所へ生徒のための待機所設置を要望しましたが、東英方面に帰宅する生徒のバスを待っている状況は未だ改善されていません。また、六郷地区と東英地区でバスの運行状況が違うのは不平等であると考えます。

つきましては、地域格差が出ないように、東英地区方面のスクールバスの運行を要望します。

※別紙 (9. カラス・野良猫対策について)



以上、令和3年度黒石市に対する要望事項として要望いたします。

令和2年12月15日

黒石商工会議所

会 頭 新 岡 常 雄